

Hi-Laurel

With long life & exclusive Handmade Note Book especially for you.



文学会

鈴木 448

文学会賞第三十四回入選作品

笹谷峠のうつりかわり

文庫 A 120

40枚

95

昭和55年

4の3

平浩山景

A

並野

敬学会賞第三十四回入選作品

95

昭和55年

目次

	ページ
① 研究の動機	5
② 研究の方法	6~7
③ 研究のなにかみ	(8~35)
1 今の笹谷峠を歩いてみて。	8~9
2 昔の笹谷峠の道を歩く。	10~11
3 工事中の笹谷トンネル	12~13
4 笹谷峠の位置	14~15
5 笹谷峠はいつごろできたか	16~17
6 なぜ、1200年前に笹谷峠ができたかわかるか。	17~18
7 どんな人たちが、昔笹谷峠を行き来したか。	18~22
(① ② ③ 人と物 ④ とうやうて荷物を運んだか。)	(18~20 21~22)
8 笹谷峠の大名行列。	23~24
9 鈴木利左衛門の家をたずねて。	25~29
10 延福寺をたずねて。	30~31
11 笹谷峠の伝説。	32~35

	ページ
⑫ 明治時代以後の笹谷峠	36~40
① いつごろから今のよう道になったか。	36~37
② 笹谷峠を通る人が少なくなったわけ。	37~38
③ 鉄道ができて、どうか変わったか。	38~39
④ その後のふもとの人たちのくらしはどうなったか。	39~40
⑬ 笹谷トンネル	41~42
① トンネルを通ると時間はどうなるか。	41~42
② 日本のトンネルと笹谷トンネルの長さ比べ。	42
③ 笹谷トンネルの中はこうなっているか。	43
④ 笹谷峠と笹谷トンネルくらべ	44~45
⑤ しょうらいの笹谷トンネルの交通量はどうか。	46
⑭ 研究のまとめ	48~51
⑮ 研究の反せい	52~53
⑯ 参考にした本と人	54

①石研究の専攻機

ぼくは、去年の夏、仙台から、関山トンネルを、通って
山形に引っこしてきました。

仙台、山形間は、車で、一時間四十分ぐらいは、
かかります。その時から、よく「笹谷峠のトンネルが開通
すれば、もっとみじかい時間で、仙台と山形を、
行き来出来るようになるんだけれど。」という人の言を、
よく聞くようになりました。

(笹谷峠って、いつごろからあって、どうして今は、
あまりみんな通らなくなったんだろう。)とか(どうし
て先に関山峠のほうに、トンネルを作ったん
だろう。)とか、いろいろな、き問を、もつうに
なりました。そこで、ぼくは、笹谷峠が昔から、
今までの間に、どのように、うつりかあったか
のが、研究してみたいと思ったのです。

② 研究の方法

1. 笹谷峠にじっさいについてしらべる。

しらべる内容

1-1

今の道、昔の道を自分で歩いてみる。

とくに、古い道を歩いて、古い石壁をみ

つけ、昔の話をしらべてみる。

1-2

これからできるトンネルをみにいく。

1-3

上のせんぶのしゃしんをとってくる。

スケッチできるところはする。

2. さんこうし料を集める。

2-1

峠道を通った人々や、峠のふもとの人々のくらしなどをしらべる。

2-2

峠の伝説をしらべる。

2-3

地図で、笹谷峠の位置などをまわす。

2-4

これからできるトンネルのことについて、

まわす。例えば、トンネルの長さを

まわす、日本のほかのトンネルとくらべて、

グラフにしてみる。トンネルの中は、

どうなっているのか、まわす。

3. 江戸時代に大名行列がとまったという

お木利左衛門のしるしの家を探る。

3-1

金矢ほう入れとかはたとみせてもらう。

3-2

鈴木さんにインタビューする。

3-3

山形市新山えんじく寺に大じにおかれて

いる昔の鈴木さんの(はんかん)をみにいき、

しゃ真をとって、スケッチしてくる。これと、山形市

史にのっている記号とをくらべてみる。

てみる。

③ 石研究のなかみ。

1 今の笹谷峠を歩いてみて。 55.5.18

曲がりくねった笹谷の道をとんどのぼっていくと
やがて、頂上につきます。そこにはきれいな花が
生いいて、とてもいいなかとめです。(しゃ真No1.)

しかし、11月のすえからよく年の四月までは雪で通
れなくなります。みはらしのよい頂上は山形県と

宮城県のさかいというわけで、宮城県川崎町

というちやういはんかたっていました。(しゃ真No2)

今はこんないい道路ですが、大昔はどんな
道だったのでしょうか。

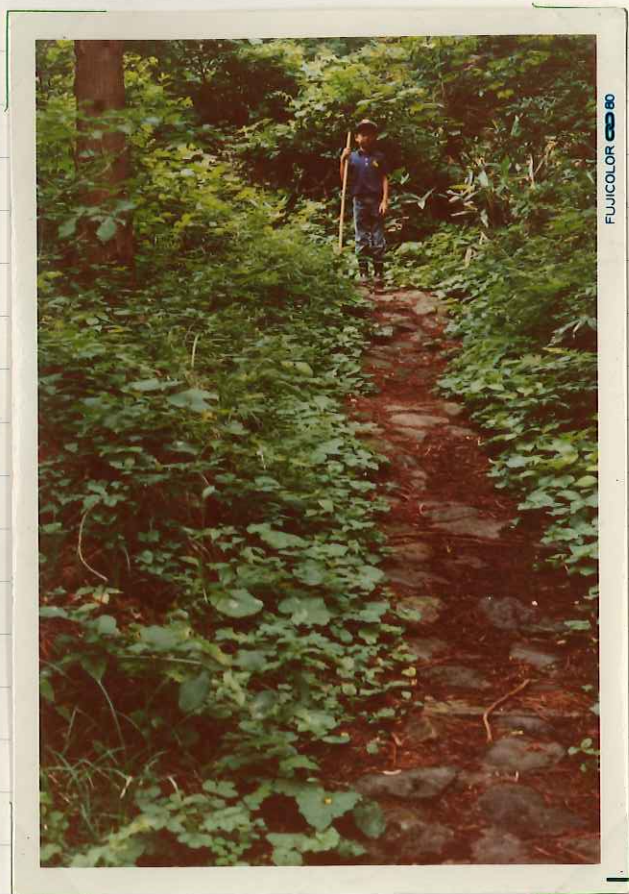


NO1



NO2

2 昔の笹谷峠の道を歩く。



NO3

55.5.18.

昔の笹谷峠の道は、ははは、メートノレぐら
いでも多く、草木が暗く、おいしば、ていま
す。さが道のところは、ちょうど、かいだん
のようなかんじにいろんな石がしきつめて
あり、昔の人たちのくろうがしのばれました。
今の道を車で、のぼるような、わけにはいかず
一歩一歩、人と馬が荷物をかついて、
ふみしめた道なのです。

笹谷峠をこえるということは、たいへんな
ことだったと思います。

← 写真 No3 (石がしいてある古い道)

3 工事中の笹谷トンネル 55.5.18

笹谷トンネルは昭和46年からトンネルを作る計画がすすめられていましたが、昭和50年9月4日山形県が宮城県から、ほりすすんできたのが、かん通しました。ほくが"見"に行った、5月18日、山形側では正面に丸いはまぐり山が"そびえ"たち、その下にたてよこに、ワフをくみあわせて、工事しているところでした。(スケッチNo1)

55.7.6

7月に"行"てみた時はワフ組が"はず"れ、ちぎれた白い土の入り口ができていました。(しゃ真No4)

55.9.11

トンネルのすずみぐあいは、トンネルの中の

CHIYODA

道路各のぼろが"あ"わり、これから、電気や、非ばうベルや空気の入れかえをする、かけをつくるところだ、えうです。

出来あがり、は来年の4月1日を"あ"ていしている、ということでした。(日本道路各公団・東北地建のぼろ)



(スケッチNo1)
山形市関沢から見た
笹谷峠トンネル工事

5(55.7.6すずみぐあいの)

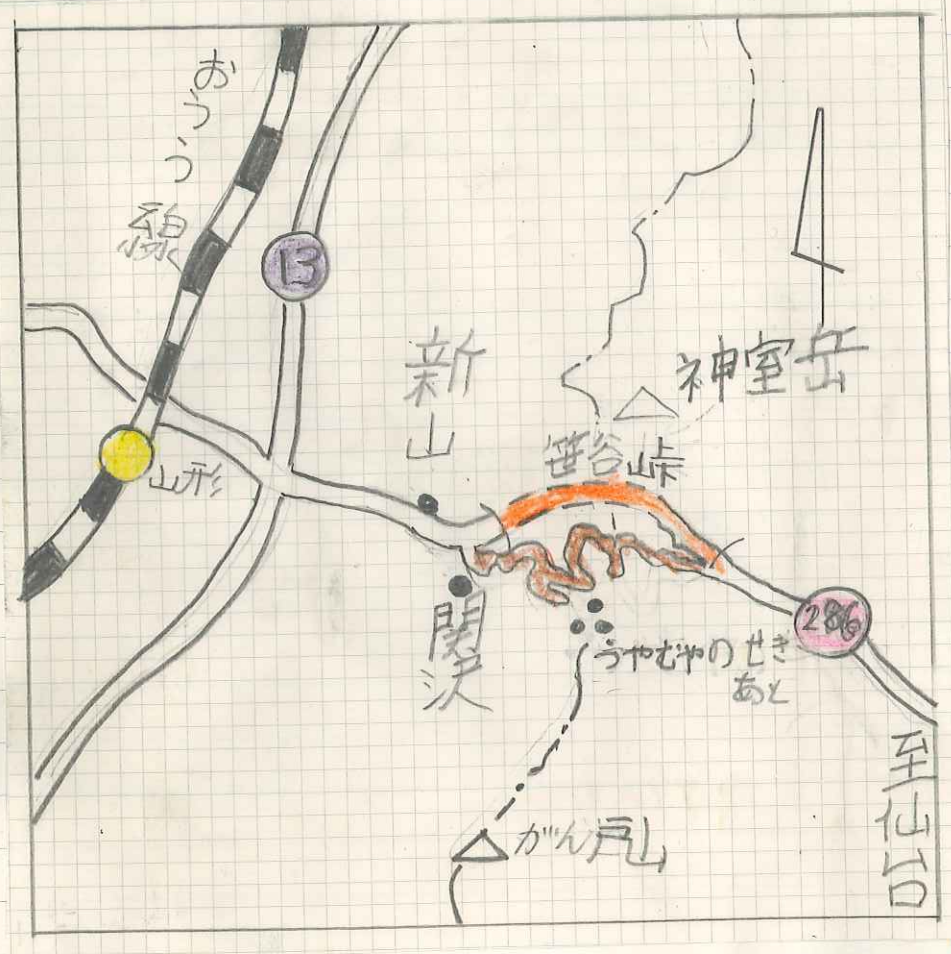


No4



FUJICOLOR 80

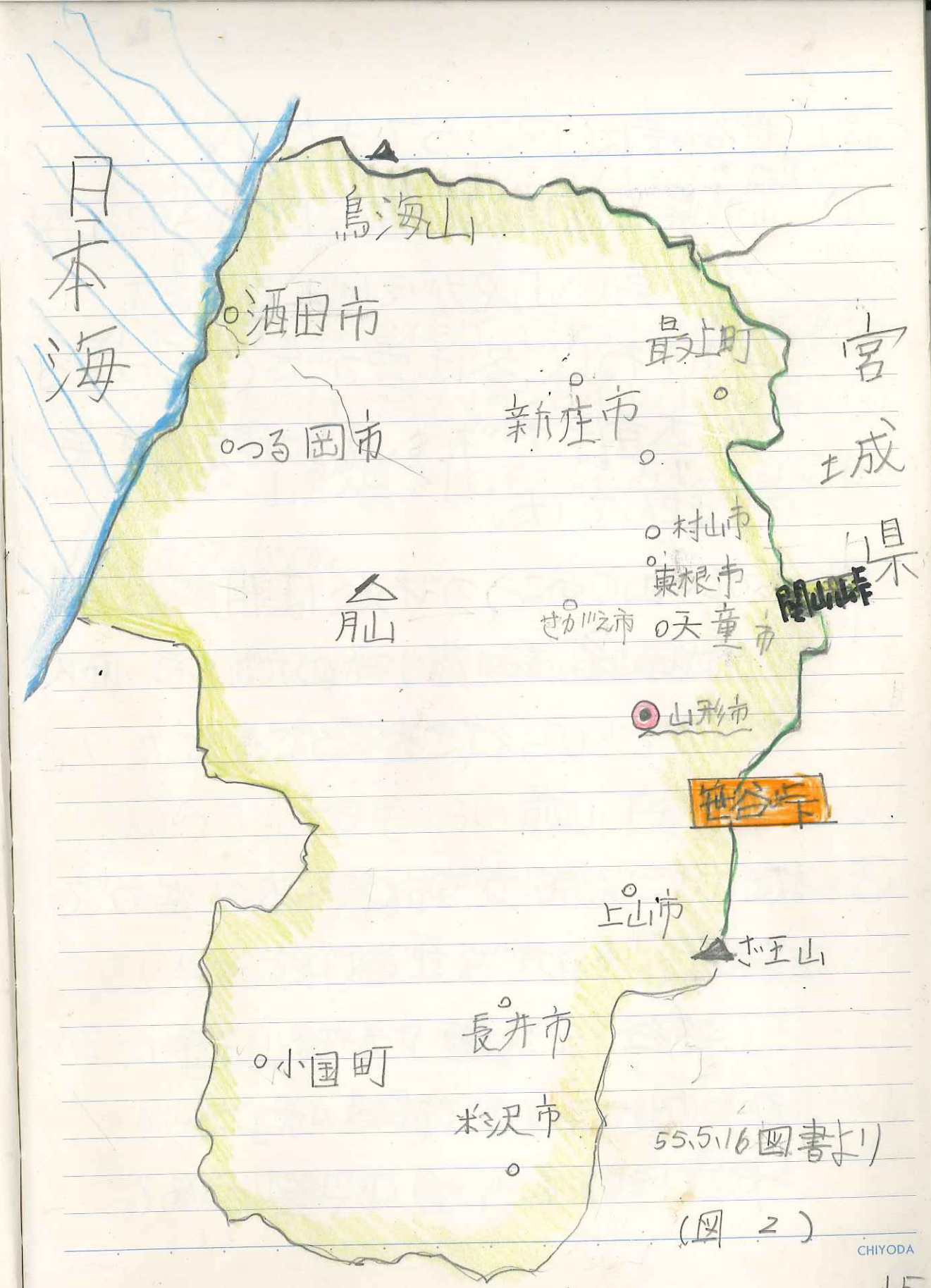
4 笹谷峠の位置



(図 1)

10/1

CHIYODA



55.5.16 四書より

(図 2)

CHIYODA

5 笹谷峠はいつごろできたか。

① 山形県と、宮城県の間には、おう羽山みやくの高い山々がそびえています。

山はけわしく、冬は雪がたくさんつもるので、大昔は、たゞれも、両方の県を行き来できませんでした。

② しかし、山の向こうがわには何かあるのかなあ。行ってみたいものだ。」と思った人たちが、少しづつ行き来するようになった。

③ たんたんたんつうちに、一本の道ができました。それが、(笹谷街道)です。

(笹谷街道)が、山道にかかったところが(笹谷峠)です。峠というのは、山道を、登りつめてこ

れから降り道になるというさかいめです。

④ こうして、(笹谷街道)と、(笹谷峠)ができたのは、今から千百年以上も前のことで、山形県では、もっとも古い道路の一つです。

6 なぜ、200年も前に笹谷峠ができたことがわかるか。

今から千百年ぐらい前の、平安時代のはじめに、政府がきめた、法りつの本に、笹谷街道にある土地の名前がかかっているからです。

峠とか、関所とか、桑ヶ山という、今でもある土地の名前です。ですから、

道路はもと昔の、大和^{やまと}時代か、
奈良時代(4三百年)前から、千二百年前
からあったのだと思います。

□ どんた人たちが、昔^{むかし}鉾谷峠を行来^{ゆききた}し

① 4年以上も前には、宮城県多賀城、
というところに、東北地方をおさめる
国の役所がありました。

そして、山形県の庄内地方にも、
多賀城の役所の支所^{ししよ}のよ
うなものがありました。

鉾谷往還道は、この二つの役所を
結ぶ官道だったのです。

官道というのは国がつくったり、なお
したりする道のことで、今の国道
のことです。

② 平安時代より前の山形県、木刈田^{きかりで}郷
軍^{ぐん}たいには、くそつよはれる人たちが住んで
いて、時々はんらんをおこしました。だから
そのはんらんを、しずめるための、軍たいが、
多賀城から、鉾谷峠を^へ通って、山形か
木刈田に出動したこともありましたが、
でも、鉾谷峠を行来したのは、軍たい
だけではありません。

③ 山形県と宮城県で、わくられる物
物の交かんを^をこうかんする大事な道でもあつたので
す。山形市はまわりを山に、かこまれているた
め、海でとれる魚やコンブなどの海草
がありません。

宮城県の仙台や、おがほは、海が近
いので、魚などがたくさんあります。

とくに、山形県には、糸花や、タバコなど、
宮城県には、ないものや、少ないものか
ありました。こぎや、こんにゃく、ぞうり作りも
さかんでした。だから、山形の方から山形
でとれたものを、持って行って、それを
売り、そのお金で、魚や海苔、油さとう、
ちうなどを買ってくるのです。

その通り道が笹谷峠でした。

山形から、宮城へ運んでいく荷物を
(上り荷)、宮城から山形へ来る荷物を、
(下り荷)、と言いました。(ほくのぞうり図)



(図 3)

CHIYODA

④ そのころは、どうやって荷物を運んだか。

荷物は、馬の背につんで、運びました。
人がかついでも、少ししか運べないし、
坂が急なので、つかれてしまうからで
す。

笹谷峠のふもとにある、(関沢、新山)
という村では、馬をたくさん飼っていて、
笹谷峠を、こえる荷物を、運ぶ仕事を
ひきうけていました。今でも、関沢、新山
には、曲り家があります。(しゃ真 No. 5)



まがり家
←

No 5

CHIYODA

21

曲がり家というのは、人と馬がリーケんの続
い曲った家に仲よく住める家です。

山形市などが荷車や人が運んできた
荷物は関山や新山で、いったんおろ
し馬の背中に、つみかえてから、峠を
こえるのです。

笹谷峠をこえるのは、昔は一日がかりだ
ったので、旅人もまた関山の宿屋にとま
て、車月早く出発するのです。荷物や人の
とまるころだったので、関山や新山は宿馬屋とよばれ
ました。

(しゃ真No6)

そのころの新山
の家

その家

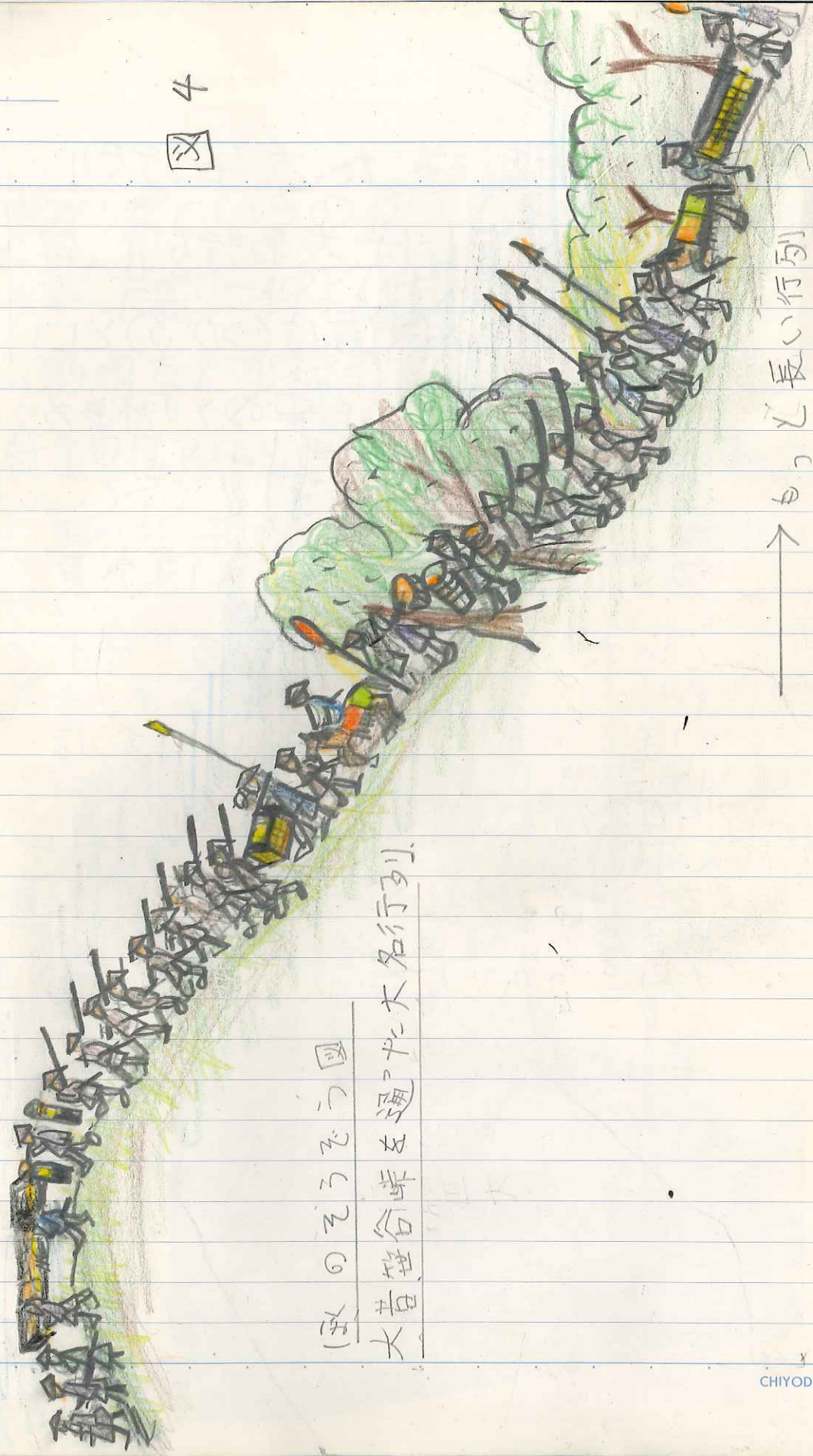
NO6



FUJICOLOR 80

8 笹谷峠を通った、大名行列

江戸時代には、大名行列も、笹谷峠を
通りました。森(昔は(つがる)といいまし
た。)や、秋田や、酒田のとの様かけらい
をたくさんつれて、荷物をたくさん馬や、
かごにつんで、江戸(いまの東京)へ
いったりきたりする時に通ったのです。
いまから約250年前の(きょうほ20年)
4月29日に秋田のとの様かづ通った時の
きょうれつつけらい二百人、荷物を運ぶ人
(人足)400人馬470頭にもなりました。
長い長いきょうれつで先頭が、峠の
てっぺんについても、はみさいには、
まだ、ふもとにいたかもしれません。
(次ページ大名行列のそうぞう図)



大昔 笹谷峠を通過した大名行列
長い行列

9 鈴木利左衛門の家をたずねて。

江戸時代の笹谷峠のことがよく
わかるのは、関沢にある鈴木利左衛門
という人の家にせんぞの人が、書いた書
類がたくさんのおかれているからです。
ぼくが七月六日鈴木さんの家を訪ねた
のは、そのような書類を見せて、もらい
たかったからです。今は、そん
の鈴木勲さんが住んでいて、家も
新しくたてなおされて、いましたか、壁には
昔の米ぐらが、そのままのうっていました。
昔の家の四角も見せてもらいました。
ぼくだったらもったいないから、こちさ
ないで、おくのにどうしてたてなおした
かとよく、昔の家は、暗くてじめじめし

ていたからなそうであ

鈴木さんの先には関沢村の庄屋をしていて、大名行列が通る時はどの様
が鈴木さんの家にとまったのです。

鈴木さんのせんぞはなせ庄屋にな
たかということ、今から三百四十一年前の
せん国母時代に仙台のどの様(だて
まさ宗)のぐんたいが越谷峠をこえて
山形にせめてきた時、いち早くそのことを
山形のどの様(もよし光)に知らせたか
らです。よし光はその知らせで、たたか
いのようなをして、だてぐんをおいがえし
ました。そのほらで庄屋になったの
です。

鈴木さんの家には昔の刀もたく

さんありがとうございました。みんな入にやってしま
って、今は二本しかありません。昔のてっほ
うも、いろりのじざいがかきにしてしま
いました。ぼくはほんとうにもったいない。
と思いました。



FUJICOLOR 80

No7

(しゃ真せつめい)

石は、子さんの鈴木いさおさん

ぼくが持っているのはてっほうメネ

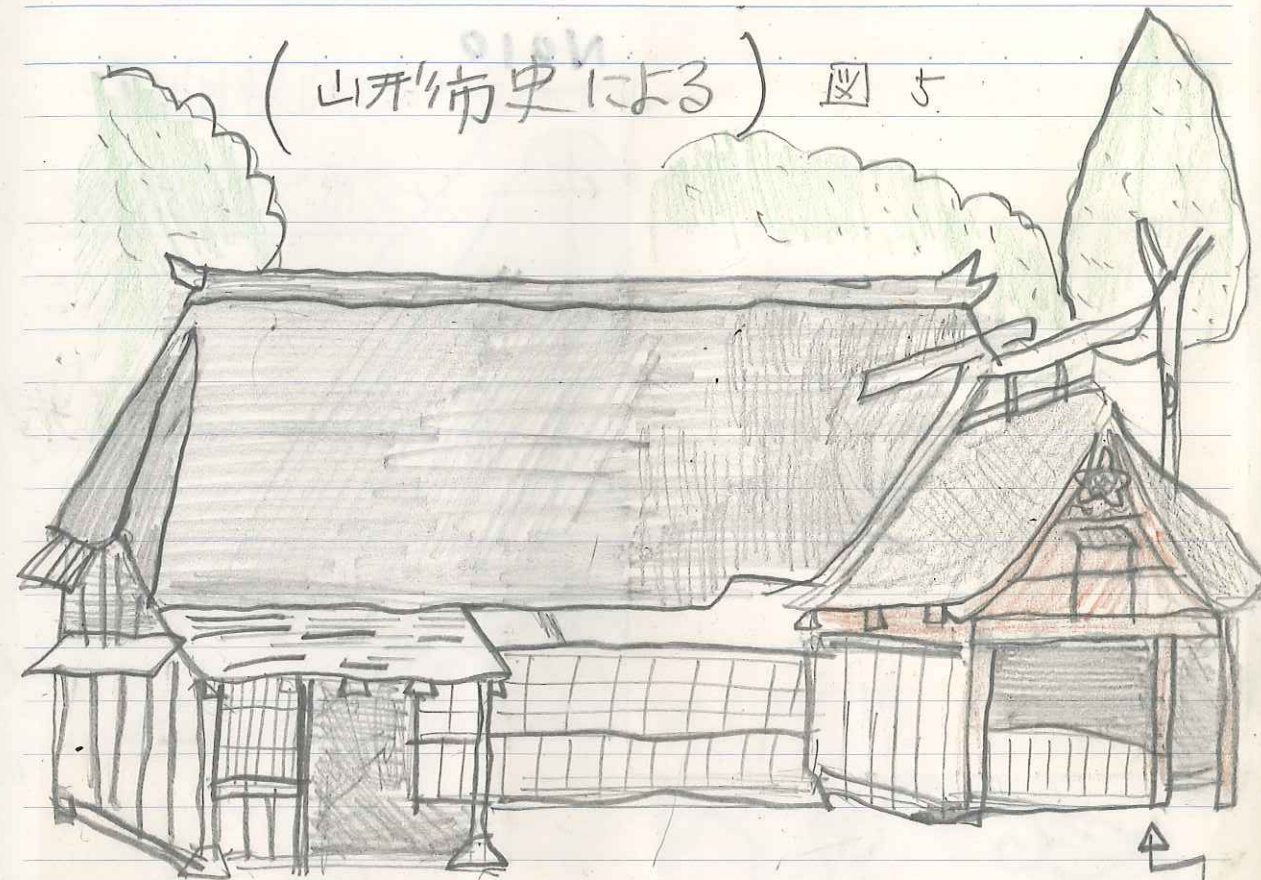


(五りんとうのはた)
約、四百年前庄屋
鈴木利左エ門が
山形城のもやし光
からほうびにもらった
ものです。
No 8



←の先に
家があった

No 9



大庄屋の鈴木利左エ門の家

古くなって(昭)42年6月に壊された。
けんかんの部分だけ新山のえんぶく寺
にある。(つぎのページ)



10 延福寺をたずねて

No10

えんふく寺の山門



やっぱり、図書で

しらべた通りの

ばんがんがあった。



No11



9月15日 スケッチ No2

常住山正福寺

の山門

の屋根

昔の金令木刑左え門の
ばんがん だった。

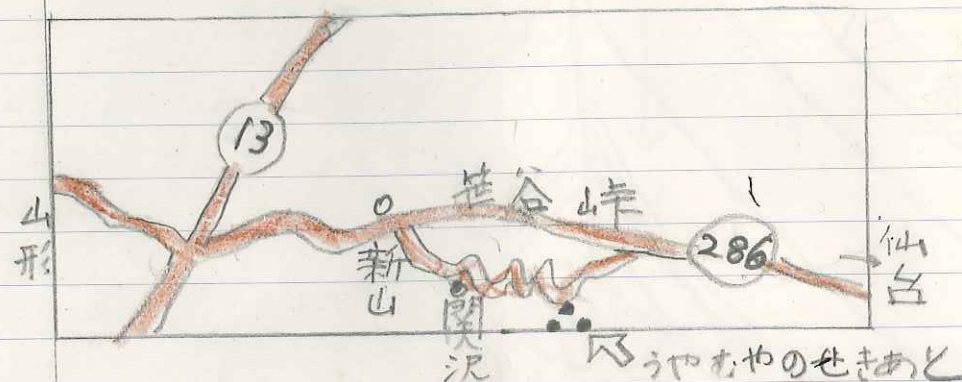


11

笹谷峠のまんせつ

① うやむやのせきあと

昔の笹谷峠の道は、せまくて急だったの



のぼったりおろたりするのが、大変でした。大雨が
ふったりすると、道がくずれて、どれが道なのか、
わからなくなることもありました。峠の宮城県
と、山形県のさかいには、せき所がありました。
せきはというのは、通る人や、荷物をしらべ
る所で、昔の道路にはさかいに、必ずあ
りました。笹谷峠のせき所は、うやむ
やのせきつとははれていました。

それには、二つの話があります。一つは、道が
せまくて、あちこちこわれていたのので、「は
きりしていない。」という意味です。
二つめは、大昔さんぞくがカラスがいました。
さんぞくが旅人をまちかまえている時は、
「うや、さんぞく、かいな」時は、むせとカラス
が旅人にしらせました。そのカラスは
きょうもとのかんのん木まが、変身したもの
だろうといううわさです。でもこれは、作り
話だろうとほくは思います。
「うやむやのせき」というところは、全国にい
くつかあって、みなおなじような、まん
せつがめこっているのです。さしい山
の中なので、さんぞくがいたのはほ
んとうです。着ているものや、お金をと

られてしまうたび人といました。

② 冬になるとふふきのために、道にまよったりさむさむ、こごえてしんでしまう人もいました。なくなった人をまつた石のカーブのあちこちにあつまっています。

ゆめいなのは大地そうです。

江戸時代の冬ごろ、荷物をかついた六人のメカ「ふふき」にあいつをついてたたまさむきのためにこごえしんだという悲しいきおんりです。昔は六つのおじいさんかありましたが、そのうち三つかいのこっているのか、たしがめられています。

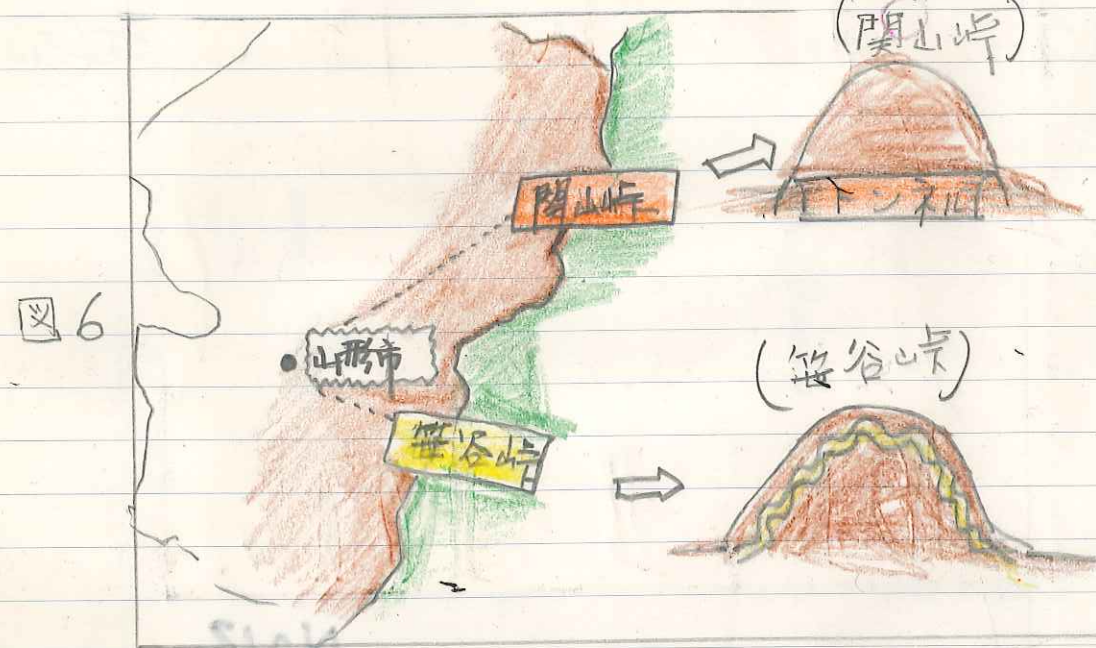


55. 7. 6

No12

しゃ真は、
峠でしんだ人の木いをはなれさめる
石り(関山)

11 明治時代以後の笹谷



① 笹谷峠の道がたいがい今のような道になったのはいつごろか。

明治26年から28年ごろ

今から約85年くらい前のことです。

急な坂をあがりに、登っていた道が、ただろかに曲りなから、登るようになおされ、道のははも広げられて、

馬車も通れるようになった。

ところが、このころになると、笹谷峠を通る人や荷物はだんだんへっていったので、その理由をつぎにかきます。

② 笹谷峠を通る人が少なくなったわけ。

今から98年前の明治15年に関山峠にトンネルができて、みんながそちの方を通るようになったからで、この関山の

トンネルがあれば、急な土反道を

登ったり、おりたりすることもないし、冬はふぶきで通れなくなることもないからです。

関山峠は、仙台から山形に行くには、笹谷峠より遠いのですが、トンネルはらくに通れるので、たいいていの人、関山の方を通るようになったのです。

しんはいまの
関山トンネル



(55.8.5.)

NP13

③ 鉄道ができて どう変わったか。

つづいて関山峠にトンネルができた、二十年あとには、
鉄道ができて、おうろく峠で、汽車は山形まで、人や
荷物を 運ぶようになった。

鉄道は、道路よりずっと早くて、

野谷峠を通る人は、ますます少なくなってきた。

CHIYODA

いきました。峠を通る人や、荷物もなくなる
と、峠のふもとの関沢や、新山の、人々のい
ともなくなってしまう。馬をもっている
馬では、この荷物はない。宿屋には、
とまる人がいなくなったから。

④ その後のふもとの人たちの暮らし

ふもとの人たちは、炭をやってそれを
山形にうりにくるようになりました。

明治時代や、大正時代には、
石油も電気も少なくて、物をにた
りかいたり部屋をあたためたりする
のには、たいがい炭がつかわれて
たのです。炭は、山の木を、かまひか
いて作ります。ふもとの人たちは、
かん戸山までのぼって、そこで山の

CHIYODA

木をきって、炭をつくりました。

しかし炭を作ってもあまりお金がもう
かりません。人々は貧乏なうになっ

ました。昔は荷物をばこに詰め、
お金をたくさんもらえたので、
若者たちは山崎をはなれて、いずの
大島に炭を焼にきました。笹谷の
うもとには、炭をやく木もなくなっ
てしまったからです。そして、そのまま大島
に住みつく人も、多かったです。

だから今でも、関山峠、栗山の人た
ちは、大島に親せきがたいていいま
す。山形市と大島が、いま姉妹都市
になって、ながくしているのは、炭焼き
の人たちがたくさん大島にいたからです。

こうして笹谷峠は、明治時代から
百年近くもおもむいていました。

13 笹谷トンネル

① 時間 そしていま、笹谷峠はもう一度目
をさまそうとしています。

それは、笹谷峠にもトンネルがつく
られているからです。この工事は、
昭和48年にはいよいよ、来年56年の4
月1日には開通します。このトンネルが
開通すれば、仙台と山形は車で一時間ぐら
で、いったりきたりすることができます。

関山峠を通ると、時間四十分ぐら
かかるのが、笹谷トンネルがあれば、
四十分ぐらゐ時間がかつてくれます。

できます 冬もらくに通ることか
 できます 昔は歩いて、5時間弱もかか
 った峠が、トネルを車通れしは、
 5、6分くらいで通ることがで
 きるのです

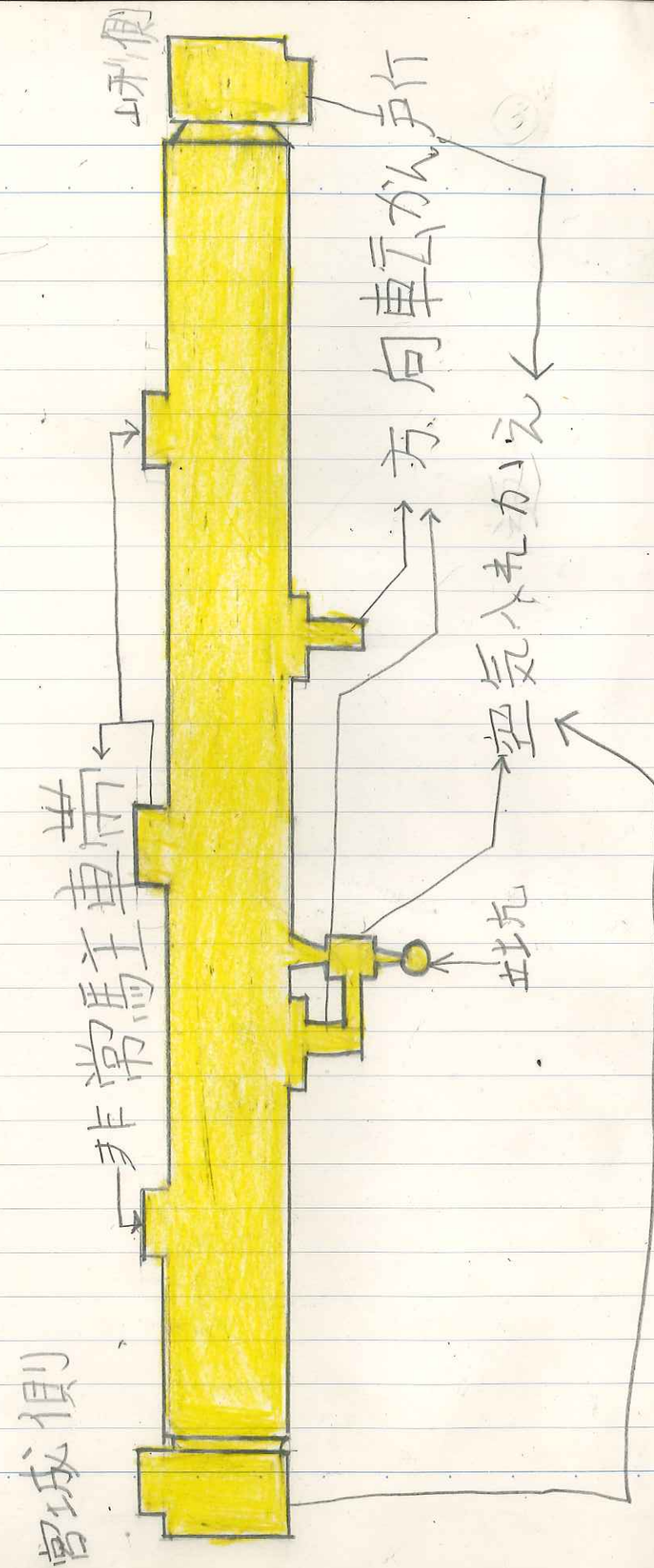
トネルの長さは、3385m 日本
 の道路のトンネルでは、ハはんめの
 長さです

② 日本の道路トンネル長さくらべ (工事も含む=0.3m)

位	トンネル名	長さ(m)	地名	3	4	5	6	7	8	9	10	11
1	関越 越え	10885	ぐんま にいがた									
2	えな 山	8625	なつのが きふ									
3	新 二うべ	6910	ひょうご									
4	笹 子	4784	山なし									
5	17 号	3920	にいがた									
6	大 峠	3920	山梨 ふくしま									
7	関 門	3461	山梨 ふくしま									
8	笹 谷	3385	山梨 みぎは									
9	うき 島	3285	北海道									
10	つる が	3175	石川									

(55年9月24日 車せつしょう道路 冬に
 問いあはせ)

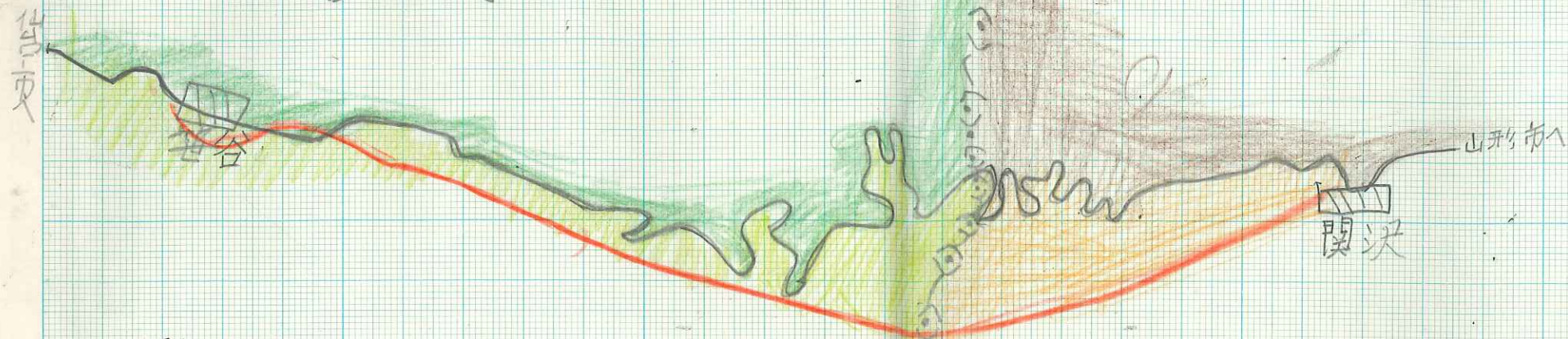
③ 笹谷トンネルの中



宮城県

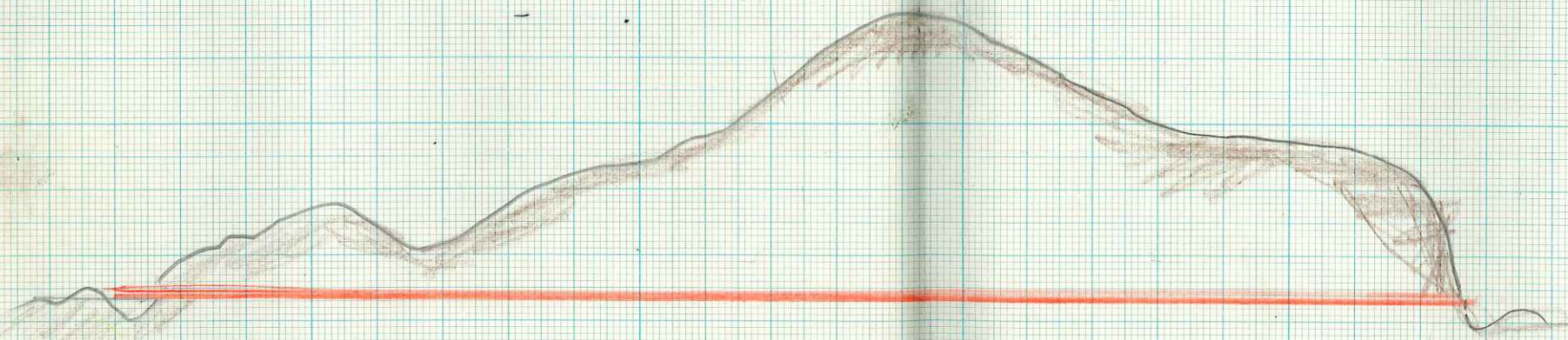
県さかい

山形県



上から見た筈谷峠とトンネル

今の筈谷峠
筈谷トンネル



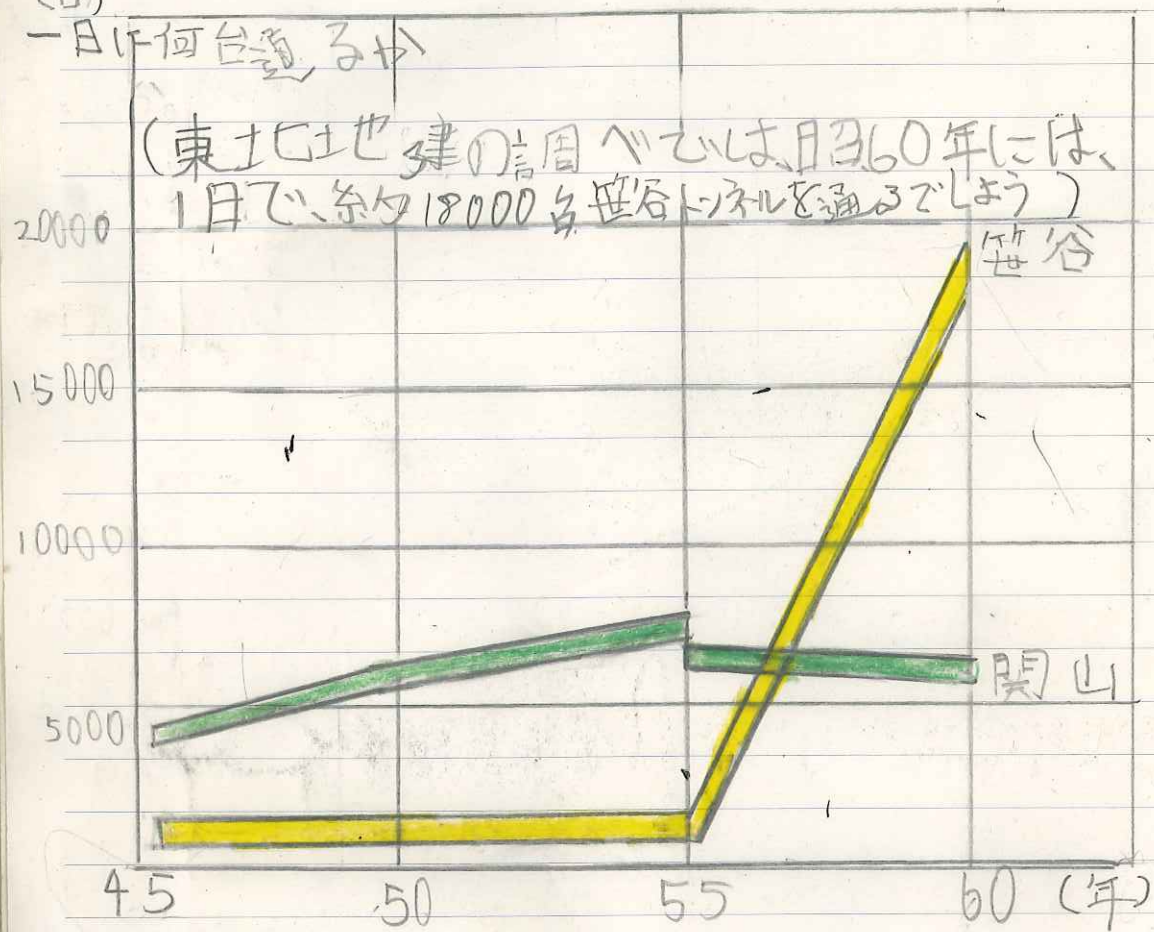
よこから見た筈谷峠とトンネル

- ①今の筈谷峠の長さ = 15,000m
- ②に初の長さ = 3,385m
- ③1/4以下になる

④ 筈谷峠と筈谷トンネルくらべ

⑤ 将来の交通量はどうか(予想)

(台)
一日に何台通るか

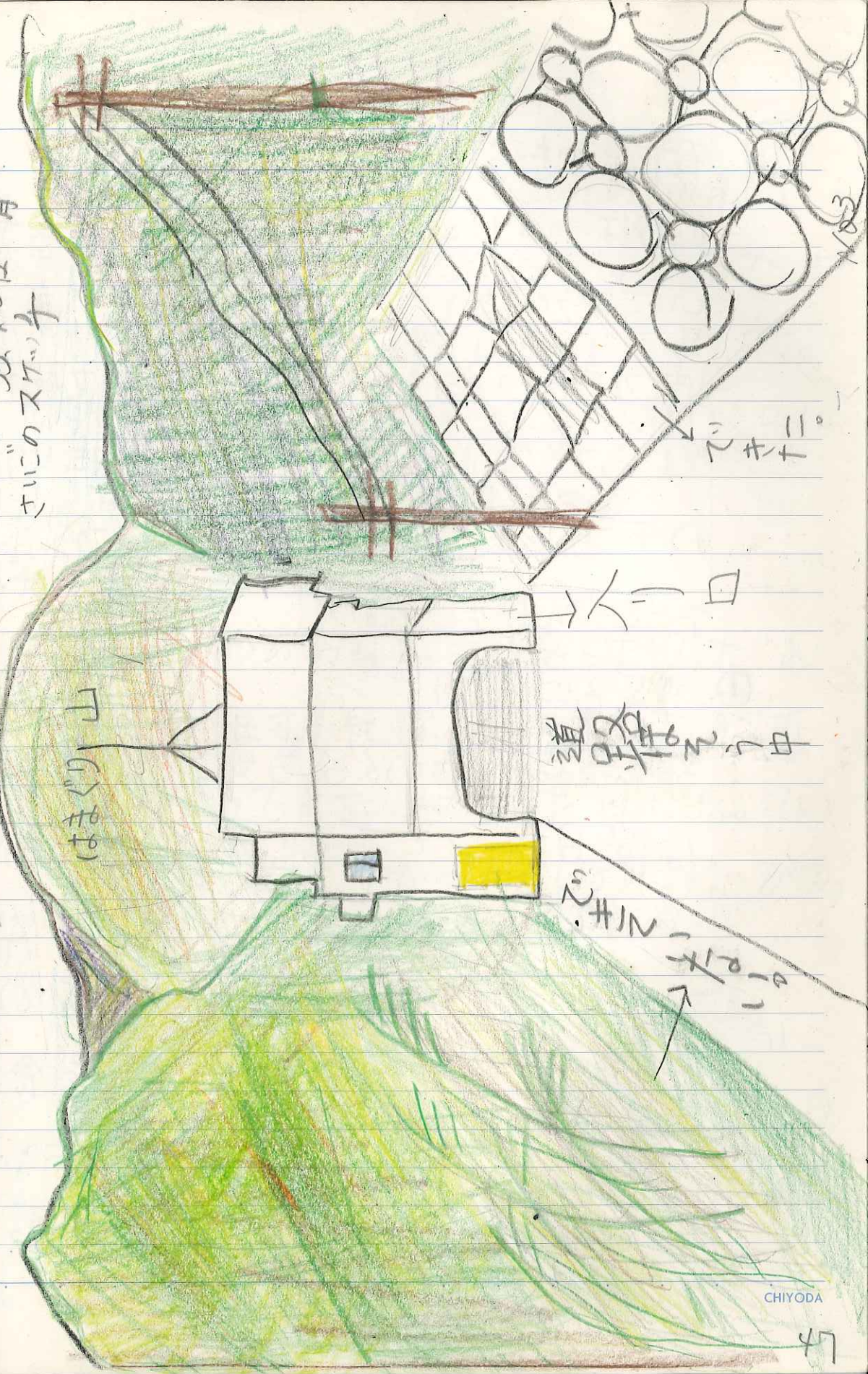


<せつりい>

今までは、関山峠ばかりを通る車が多
かったのが、笹谷峠にトンネルができれば、峠
と山開きの一ぱんみじかいきよりので、だん
だん笹谷峠を通る車が増え、関山の方は
ぐんと減っていくようになるでしょう

55.9.15日
青森のスケッチ

山形県からみた笹谷トンネル



④ 研究でわかったこと(まとめ)

山形は、ぐるりと山にかまかまれている。峠をさかいによその県とつながっています。ですから、峠が長い間にどのようにかまかまってきたか、ということは山形市にすんでいるほくたの生活ともとてもかんけいがある、かいてとたかんじました。

① 道足名の由来

道足名はみんなのくらしをたすにする大切な役目をもっています。山形の人は、ちがいで、海でとれる魚や海草を食べることができ、海に近いところに住んでいる宮城の人たちが、山形でとれる山さしなどを食べる、ことができたのは、釜谷峠のように山をこえる道足名ができたからです。

また、昔の人は、道を通って、よその方へ行き、そこで自分の住んでいるところではしななかった、いろいろなことを知ることができました。道足名がちゃんとできてから、人々のくらしは、だんだんよくなりました。

② 道足名のうりかき

時々、かかあると、道足名もだんだん、なっていく。それは、交通きかんが、なるからです。昔、人が、足だけで歩いて、たころは、道は、人が歩くだけ、つは、は、は、が、あ、れ、は、よ、か、た、の、で、す。

そして、人が、馬にのって、通るようになる、と、道は、も、つ、は、は、が、ひろ、く、な、り、馬が、ころは、な、い、よ、う、に、平、ら、に、な、り、ま、し、た、。そして、人が、自動車にのって、通るようになる、と、

道は、車のはばに合わせて、ぐんとはばが
広くなり車が走りやすいように、もっと平らに
なり、ほこりが立たないように、ほそうされ
ました。トンネルをほるぎい、つが、進んだ
ので、山の下をトンネルで、らくに通るこ
とができるようになりました。

笹谷峠は、うつりかわりのよろすがよくあら
われています。

③ 人々のくらしのうつりかわり

道足各がかわると、そのそばにすんでい
る人たちくらしもかわります。

昔、人や荷物がたくさん通り、自動車
がなかったころ、笹谷峠のふもとの人た
ちは、荷物を運んだ、宿屋をいたり
して、くらししていました。

明治時代になって、関山トンネルが
鉄道ができて、笹谷峠を通る人が少な
くなると、山の木を切り炭をやって、それを売
って、くらなうになりました。

そして、道足各がよくなり、バスが
通るようになる、山開きの町のやくし
や会社につめて、くらなうになりました。
これからトンネルができて、車がふえる
と、その辺の人々は、ドライブインか、金釣り
ほりをつくらすのか、ふえるんじゃない
かなと思います。

⑤ 石研究の反せい

ほくがもっているれき史の本は、学研の日本のれき史二つだけでした。この本では、笹谷峠のことはさっぱり書いてなかったけれど、大名行列だけには、こういうふうなのがありました。

ほくは、その行列を昔の笹谷峠にあてはめて、そうそうしたりしました。

さもんに、思ったことをしらべて、それがわかると、またつぎに、べつなさもんがていくので、それをまたしらべて、いんうちに「これじゃあ、いつまでたってもかいつできないんじゃないか」と心配になりました。反せいとして、このつぎから石研究

するときは、ざっとはいじめに、りかいして、それからきちんとけいかをたててゆきは、もう少したのしく研究できるのではないかと思います。

これしかったのは、昔の大名行列のおせちをしたという関決の鈴木刑左衛門家のけんかんから、正福寺にあるというのを、学本校圖書の本で、みつけさがして行ったら、本当に山形市史のしゃ真そっくりのか、お寺で見つけた時でした。その時は、「この石研究をやってよかったなあ。」と思いました。

ほくにとって、笹谷峠はよく通る道なので、これからも、またさもんに思うことが出てきたら、研究を続けていきたいです。

⑥ さんこう図書

1. 山形市史 (生活文化)
2. 笹谷トンネル (建設省)
3. やまがたの峠 (読売新聞社)
4. 日本の戦史 (学研)
5. 県境の道 (54年7月10日 河北新報記事
はなしを聞いた人)
2. 建設つよう道路 多くの
鈴木いさおさん